

成果の説明書

(氏名) 倪 鏡	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
<p><教育></p> <ul style="list-style-type: none">・専任講師としての初年度に、「現代の農村問題」、「アグリビジネス論」と「協同組合論」の3講義を担当した。非常勤講師だった時期から継続した科目ではあるが、構成を一部再編し、内容のバージョンアップを図った。・初年次ゼミでは3つのクラスを担当し、共通するテキストを用いながら、高校での勉強との違いを意識して学習指導を行った。・基礎ゼミでは、農業経済の入門書や食料農業農村白書の輪読を実施するとともに、学生たちが特に関心をもつテーマについてディスカッションを行い、農山村問題への認識と理解を深めた。・その他、「地域づくりを学ぶ」の講師、「高崎市の課題と政策」のコメンテータを務めたなど、リレー講義の実施にも携わった。 <p><研究></p> <ul style="list-style-type: none">・著書 共同執筆者として、中国社会科学院農村発展研究所から刊行される（2024年中出版予定）書籍『日本農協組織・事業とその展開方向』（仮名、中国語）の第8章（日本の農協における指導事業）を執筆した。・調査研究 中国における農業担い手創出に関する研究の一環として、北京近郊及び河北省園芸地帯における新規就農の実態について調査を行った。その内容をまとめた論文は2024年度に投稿予定。・講演 2024年3月に中国社会科学院農村発展研究所共同経済研究センターにて「都市農村共生社会の構築に向けた田園回帰と新規就農」をテーマに講演を行った。 <p><学内業務></p> <p>入試運営委員会の委員として、入試業務に携わった。</p>	
2 その他の事項	
<ul style="list-style-type: none">・2024年3月に中国社会科学院政治学研究所訪日団（房寧前所長一行）と研究セミナーを行い、日本の農業農村政策や地域経済等について広く意見交換をした。	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p><研究></p> <p>「農業・農村における新たな担い手創出に関する日中の比較研究」を進めていきたい。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none">① 日本国内において、群馬県を拠点にしつつ、フィールドワークの拡大を図りたい。② 中国において、園芸地帯の他、穀物地帯における担い手創出の実態調査を行う予	

定。

上記の調査内容をまとめ、学会発表と論文執筆を進めたい。

<教育>

- ① 担当する講義の内容充実と深化を図る。
- ② 演習では、座学のほか、群馬県を中心にフィールドワークを実施する。
- ③ 研究生（留学生）の研究指導を行う。
- ④ 大学院の講義を開始する。

<その他>

- ・新年度に担当する学内業務にしっかり取り組んでいきたい。
- ・中国社会科学院と中国農業大学で予定されている研究セミナーに参加し、国際的学術交流を進めていきたい。
- ・高崎市の地域課題研究に取り組み、地域貢献につなげていきたい。